

祝辞

修了おめでとうございます。

1年前、2年前、3年前、あるいはもっと前かもしれません。この同じ場所で入学式に参加された時に、今日のこの日をどのように予想されたでしょうか。思っていた以上に、辛い毎日乗り越えて、やっとなんとかたどり着いた、とっている方も多いかもしれません。

1年生の時は、寝る間を惜しんで大量の宿題に取り組まれたことでしょう。2年生からは、やっと宿題から解放されて研究ができるとホッとしたのも束の間、なかなか成果の出ない研究の中で、全てを投げ出したいくらいの孤独感を感じたかもしれません。でも、今日が来ました。皆さん一人一人の素晴らしい成果が認められて、遂にここまで辿り着かれたのです。

でも、本当の舞台はこれからです。来週から職場に戻って、皆さんの素晴らしい成果と経験を、会社に、同僚に、社会に還元してください。しかし、もしかするとこの大で味わった以上の孤独感を感じるかもしれません。なぜなら皆さんは、黒い羊になったからです。Black Sheep Effect、集団の中の、異質な存在として排除される厄介者です。ここで学んだことで、気がつかないうちに、周りの人とは見えるものが違ってしまっていたのです。

先週、ある判決がありました。札幌地裁の同性婚をめぐる判決です。法律では、婚姻は両性の合意が必要と書かれ、異性婚が前提とされてきました。しかし、この判決では、1947年の民法改正当時、同性愛は精神疾患とされて正常な婚姻を築けないと考えられたためであり、その知見が完全に否定された現在では、同性婚でも異性婚でも法的利益に差異はない、とする画期的な判決でした。多分、これを出した裁判官は、黒い羊です。でも、黒い羊となる覚悟があったからこそ、誰よりも先に、このような判決をだしたのだと思います。社会を変革していく時は、そのような人が必要なのです。そして、皆さんは、今日、そのような黒い羊の仲間になったのです。5年先、10年先、あの人がこれを始めたから今があるんだ、と言われるような存在にぜひなってください。私たち教員は、そのようなあなた方を全力で応援します。明日、人と違うものが見えても、忸度しないでください。明日からが皆さんの本当のスタートです。

これからの皆さんのご活躍を祈念し、お祝いの挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございました。

2021年3月27日

ビジネス科学研究科長 兼 研究群長 倉橋節也